

市民生活を重視し事業推進 26年度決算の概要

26年度決算は、一般会計と特別会計5会計を合わせると、歳入が469億9千万円、歳出が469億9千万円、増減は0円、伸び率は0.0%となりました。景気回復基調が続いているといわれながらも市税が減収となるなど、厳しい財政運営が続いています。新時代あやせプラン21「後期基本計画」の重点プロジェクトを中心に、市民生活を重視した事業を着実に推進しました。詳しくは、市ホームページで公開しています。

図財政課 ☎70・5601。

一般会計

◆歳入 個人市民税の減収により市税全体では2千万円の減でしたが、消費税率の引き上げに伴い地方消費税交付金が増えたとともに、小・中学校の空調設備の更新や綾瀬スポーツ公園の整備など投資的経費の増加により国庫補助金や市債が増え、歳入全体では、24億9千万円の増となりました。

◆歳出 民生費は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の実施、障がい者福祉サービスの利用者数の増加による障がい者介護給付費の増などにより、5億1千万円の増でした。土木費は、綾瀬スポーツ公園の整備や、インター設置関連の道路の整備などにより7億円の増でした。教育費は、小・中学校のトイレ改修や施設整備などにより、9億7千万円の増となりました。歳出全体では、25億9千万円の増でした。

特別会計

国民健康保険事業 被保険者数はわずかに減少しているものの、被保険者数は

決算額の比較

※四捨五入しているため合計と一致しない場合があります

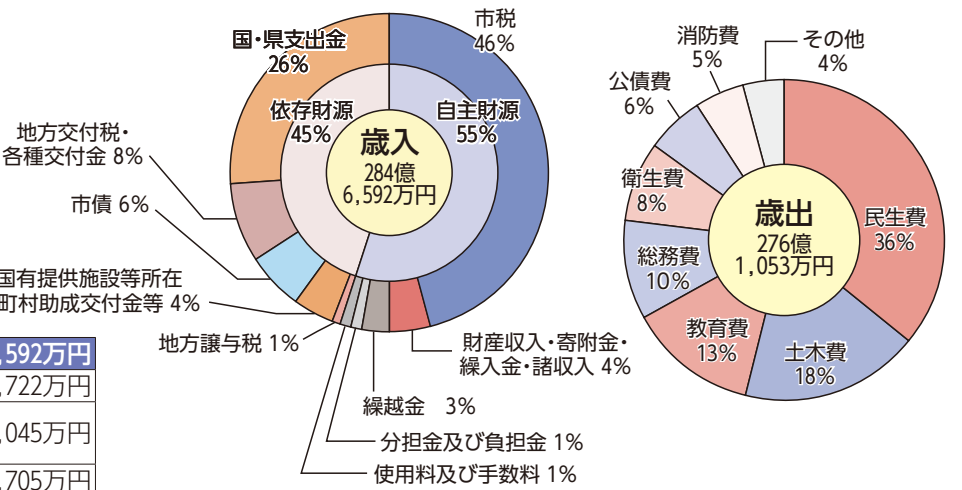
歳入 会計名	決算額	昨年との比較	
		増減	伸び率
一般会計	284億6,592万円	24億9,121万円	9.6%
国民健康保険事業	99億648万円	4,347万円	0.4%
下水道事業	31億5,625万円	1億6,538万円	5.5%
深谷中央特定土地 区画整理事業	7億1,470万円	△4,300万円	△5.7%
介護保険事業	39億7,359万円	2億7,487万円	7.4%
後期高齢者医療事業	7億7,460万円	7,972万円	11.5%
計	185億2,562万円	5億2,044万円	2.9%
合計	469億9,155万円	30億1,165万円	6.8%

歳出 会計名	決算額	昨年との比較	
		増減	伸び率
一般会計	276億1,053万円	25億9,287万円	10.4%
国民健康保険事業	98億3,648万円	4,347万円	0.4%
下水道事業	31億4,625万円	1億6,538万円	5.5%
深谷中央特定土地 区画整理事業	7億1,167万円	△3,122万円	△4.2%
介護保険事業	39億4,526万円	3億2,999万円	9.1%
後期高齢者医療事業	7億6,293万円	7,231万円	10.5%
計	184億259万円	5億7,993万円	3.3%
合計	460億1,312万円	31億7,280万円	7.4%

グラフの解説

歳入	284億6,592万円
国・県支出金	26%
依存財源	45%
地方交付税・各種交付金	8%
市債	6%
国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	1%
国が徴収した消費税の一部として国から交付されたお金、国税の中から交付されたお金など	23%
国や金融機関などから借り入れたお金	17%
提供施設等所在市町村助成交付金等	12%
市有地を売却して得たお金、寄付金、基金(市の貯金)などから繰り入れられたお金	12%
前年度から繰り越されたお金	9%
保育料や施設の入所費用など、特定の利益を受ける方が負担したお金	2%
施設使用料や住民票発行手数料など	1%
国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	1%
市の事業に対し、国や県から交付されたお金	7%
消費税率の一部として県から交付されたお金、減税を補うためなどに国から交付されたお金、国税の中から交付されたお金など	23%
国や金融機関などから借り入れたお金	17%
提供施設等所在市町村助成交付金等	12%

26年度決算状況 (一般会計)



歳出	276億1,053万円
民生費	100億2,872万円
土木費	49億142万円
教育費	36億9,126万円
総務費	28億3,221万円
衛生費	21億6,228万円
公債費	16億711万円
消防費	12億5,737万円
その他	11億3,016万円

(5) 特別職の報酬などの状況 (27年4月1日現在)

区分	給料月額など
給料	市長 911,000円(714,224円) 副市長 740,000円(688,940円)
報酬	議長 530,000円 副議長 429,000円 議員 398,000円
期末手当	(26年度支給割合) 4.0月分
退職手当	(算定方式) (支給時期) 市長 給料月額×勤続期間×400/100×87/100 任期ごと 副市長 給料月額×勤続期間×300/100×87/100 任期ごと

※給料の()内の金額は、減額措置(24.7.25~28.7.24)による金額

3 勤務時間・その他の勤務条件

(1) 職員の勤務時間、休憩時間の概要 (27年4月1日現在)

職員の勤務時間は、8時30分~17時のうち休憩時間45分を除いた1日7時間45分、週38時間45分です。

(2) 各種休暇の取得状況 (26年度中)

区分	取得状況	区分	取得状況
年次休暇	平均7.0日	病気休暇など	45人
特別休暇	延べ793人	育児休業	10(10)人
介護休暇	0人	部分休業	0(0)人

※育児休業・部分休業欄の()内は、女性の取得者数で、内数

区分	綾瀬市	国	
配偶者	13,900円	13,000円	
配偶者以外の扶養親族	7,500円	6,500円	
配偶者のいない職員の扶養親族のうち1人	11,200円	11,000円	
16~22歳の子の特定加算	5,500円	5,000円	
住居手当	市内：29,700円を限度 市外：27,000円を限度	27,000円を限度	
通勤手当	55,000円を限度	55,000円を限度	
地域手当 (27年4月1日現在)	支給率 10% 支給対象職員数 609人 国の制度(支給率) 4%		
区分	全職種		
職員全体に占める手当支給職員の割合(26年度決算)	15.9%		
支給職員1人当たり平均支給月額(26年度決算)	13,664円		
手当の種類(手当数)	市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例(5)、市技能労務職員の給与に関する規則(1)		
代表的な手当の名称	消防手当、社会福祉業務手当		
時間外勤務手当	26年度	支給実績	162,662千円
		職員1人当たり支給月額	267千円
	25年度	支給実績	130,511千円
		職員1人当たり支給月額	213千円